

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 6 月 1 日 (2006.6.1)

【公開番号】特開 2000-295119 (P2000-295119A)
 【公開日】平成 12 年 10 月 20 日 (2000.10.20)
 【出願番号】特願 平 11-99120

【国際特許分類】

H 0 4 B 1/04 (2006.01)

H 0 4 J 13/00 (2006.01)

H 0 4 L 29/00 (2006.01)

H 0 4 L 29/08 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 1/04 P

H 0 4 B 1/04 T

H 0 4 J 13/00 A

H 0 4 L 13/00 T

H 0 4 L 13/00 3 0 7 C

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

与えられた音声信号に基づき複数の送信レートから一つの送信レートを決定する送信レート決定手段と、

送信用の無線周波信号を生成するシンセサイザ手段と、

前記シンセサイザ手段により生成された無線周波信号を前記音声信号に基づいて変調し、変調信号を出力する変調手段と、

前記出力された変調信号を増幅して出力する増幅手段と、

前記送信レート決定手段が決定した前記送信レートに基づくタイミングを生成する手段と、

前記生成された送信レートに基づくタイミングと、前記シンセサイザ手段の立ち上がり時間とに基づいて、前記シンセサイザ手段及び前記変調手段の動作の立ち上がりタイミングを制御する手段と

を具備することを特徴とする無線送信機。

【請求項 2】

与えられた音声信号に基づき複数の送信レートから一つの送信レートを決定する送信レート決定手段と、

送信用の無線周波信号を生成するシンセサイザ手段と、

前記シンセサイザ手段により生成された無線周波信号を前記音声信号に基づいて変調し、変調信号を出力する変調手段と、

前記出力された変調信号を増幅して出力する増幅手段と、

前記送信レート決定手段が決定した前記送信レートに基づくタイミングを生成する手段と、

前記生成された送信レートに基づくタイミングと、前記シンセサイザ手段の立ち上がり

時間とに基づいて、前記シンセサイザ手段及び前記変調手段の動作の立ち上がりタイミングを制御する第1制御手段と、

前記生成された送信レートに基づくタイミングと、前記増幅手段の立ち上がり時間とに基づいて、前記増幅手段の立ち上がりタイミングを制御する第2の制御手段とを具備することを特徴とする無線送信機。